

# 令和4年度高等部概要



【高等部学年別生徒・教員数】

学年	生徒数
1年	27名
2年	35名
3年	35名
計	97名

## 高等部教育で目指すもの

本校高等部では、地域の学校からの教育相談、医療や関係機関等と連携した教育支援活動を実践し、生徒一人ひとりの入学から卒業に向けての充実した指導を心掛けています。

学習面については、「国語」、「数学」等の各教科に加え、特別支援学校の教育課程の特徴である領域の指導、各教科等を合わせた指導としての「作業学習」「キャリアガイダンス」そして、「総合的な探究の時間」等の各授業を各学年での取組や生徒個々に応じた学習グループを編成して取り組んでいます。将来的な社会参加や社会自立に向けて、個々に応じた役割を社会の中で最大限発揮できる力の育成を目指します。



基礎学力向上



つけた  
力を生活で



主体的に



自分の判断で

【具体目標】

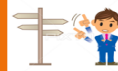
健康な身体



コミュニケー  
ション



認識力  
思考力  
判断力



思いやりの心



興味関心を広げ、  
生活を豊かに



社会人としての  
基礎的な力



## 交流及び共同学習

・熊野高校福祉科（2回／年）

・特別支援学校生徒会交流

## コース制導入のねらい

高等部での学びは、卒業を最終ゴールとしているのではなく学校教育から巣立ち、以降の社会生活における学びや成長の土台を作ることを目指しています。

高等部での学びの目標を“3年間”という短期にとどめず、更に卒業後の生活を想定した中・長期的な視野に立った【学びの土台】を育成することとします。

生徒一人ひとりの卒業後のスタートラインを見通したコースを設定し、ねらいに応じた教育課程を編成することで、キャリア教育の視点を通した一人ひとりの生き方から社会参加や自立を目指す取組を展開します。

## コース制による教育

1年次

2・3年次

### 社会参加や自立に向けた力の育成

教師の関わりや教室等の環境を構造化することにより、「一人ですること」を増やし、地域や家庭で主体的に活動できる力の育成を目指す。

同じ目標を目指す集団を編成することにより、実態に応じたわかりやすい環境設定が可能

### 主体的に生きるための力の育成

- 人間関係形成能力
- 将来設計能力
- 活動遂行能力
- 意思決定能力
- 情報活用能力
- 活動態度

自身を高める取組と  
「わかる授業」

「勤労観」：自分でできることを増やしていこうとする態度・意欲

「職業観」：自らの生き方を主体的に考え、進路を適切に選択できる能力・態度

### ベーシックコース

「自尊感情の高まり」

コミュニケーションや社会性の基盤となる他者理解や自己理解、更には、自分自身の強みや苦手な部分等自らの全てを包括的に受け入れることができる力の高まりをめざす。

### アドバンスコース

「生活自立」と「社会参加」

基本的な生活習慣を確立し、生活自立に必要な知識や技能を身につけ、支援を受けながら豊かな暮らしの実現をめざす。

### トライアルコース

「職業的自立」と「社会参加」

生活や就労に必要な知識や態度、望ましい勤労観を身につけ、幅広く進路を選択できる力の獲得をめざす。

### マネジメントコース

「職業的・社会的自立」

社会的、職業的自立に必要な知識・技能・態度を身につけ、卒業後の一般就労をめざす。

主体的に社会生活を営む力の獲得